

編集後記

環境教育研究マネジメントセンターは、雲仙 E キャンレッジプログラムをはじめとしたフィールドでの教育研究の充実を掲げ誕生した。大学の地域貢献は、もはや珍しいことではなくなったが、大学と地域を結ぶマネジメントの役割は重みを増している。地域のニーズと大学のシーズのマッチングがなければ、真に持続的な貢献にはつながらない。この点を意識しながら、地道に活動を蓄積していくことの重要性を日々感じている。

今号も、毎年恒例のことであるが慌ただしいなかの編集作業となった。多くの方のご助言のもと刊行にこぎつけることができ、感謝の念に堪えない。

今号では、本センターが主体的にかかわった事業や、学生への講義内容等を写真や当日のプログラムと合わせて紹介した。同じような地域活動をおこなっている機関、これから地域活動に取り組もうとしている方々等にとって少しでも有益な情報を提供でき得るならば、この上ない喜びである。

2015年度は、前年度に引き続き地域での研究活動、雲仙市をはじめとする島原半島などでの学生対象のフィールドスクールの充実、地域住民を主対象とした公開講座の実施など、着実な事業展開に努めていく。物理的な規模の小ささは、むしろ小回りが利くというように前向きにとらえたい。現有のマンパワーを最大限発揮できるよう、今後とも多くの方の一層のご理解とご協力をお願いする次第である。

(深見 聡)